

ELKの山歩き

屋久島1・宮之浦岳／鹿児島

◎日程◎平成20年11月17—21日
(月一金)

◎行程◎

17日

20:00・今治発
23:30・三崎港発

18日 雨／晴れ

00:40・佐賀関港着
08:00・鹿児島港発
10:50・宮之浦港着 (昼食)
12:00・民宿着
14:30・千尋の滝
15:30・尾の間温泉
17:00・民宿一泊

19日 (歩行約10時間) 曇り／雪

05:00・民宿発
06:00・淀川登山口
07:00・淀川小屋
09:10・花之江河
10:00・投石平
12:00・宮之浦岳山頂
12:30・栗生岳 (昼食)
14:10・投石平
15:00・花之江河
16:40・淀川小屋
17:30・淀川登山口
19:00・民宿一泊



▲ 雪景色を楽しみつつ山頂へ



▲ 山頂は真っ白な雪に覆われていました



▲ 深い緑に囲まれた淀川小屋

亜熱帯から亜寒帯までの気候を持ち合わせ、南海に突き出すように聳え立つ屋久島、世界遺産に登録された独特な自然と、百名山に数えられる名峰を楽しむに行ってきました。

ちょうど、日本中を覆う大寒波の到来で、南国屋久島も寒く冷え込んだ中、淀川登山口から出発。

ぱらぱらと落ちていた雨がだんだん白くなり小花之江河は一面の雪景色、いつもは緑の湿原も白と黒の水墨画のようきれいです。投石平を過ぎると木々にも雪が付きクリスマスツリーのように、そんな景色を楽しみつつ笹原に覆われた稜線を登っていくと、屋久島特有な花崗岩の奇岩達が迎えてくれます。

大岩の立つ翁岳、栗生岳といった山の横を通り抜け、いよいよ宮之浦岳の山頂へ到着、山頂は一面雪に覆われた世界でした。

なかなか見ることのできない、宮之浦岳の雪景色を十分に堪能して、来た道を下山しました。

南国と思われがちな屋久島で、雪景色と見ごろを迎えた紅葉を楽しむことができた山歩きでした。

OUTDOOR SHOP ELK

TEL (0898) 23-7001

<http://elk.fc2web.com/>

e-mail outdoor_elk@yahoo.co.jp

ELKの山歩き

屋久島2・縄文杉／鹿児島

◎日程◎平成20年11月17－21日
(月一金)

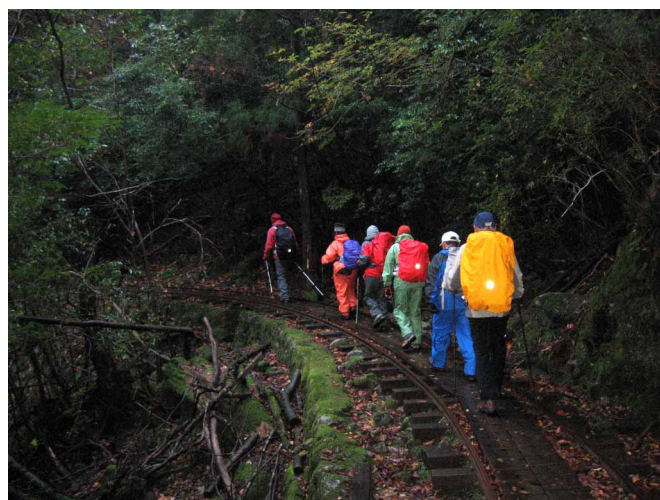
◎行程◎

20日 (歩行約10時間) 曇り／晴れ

04:30・民宿発
05:40・荒川登山口
07:00・小杉谷跡
08:00・ベンチ休憩
08:50・大株歩道入り口
09:40・ウイルソン株
11:00・大王杉
12:00・縄文杉(昼食)
13:20・ウイルソン株
14:00・大株歩道入り口
15:40・小杉谷跡
17:00・荒川登山口
18:00・民宿一泊

21日 晴れ

08:00・民宿
09:30・屋久島環境文化村センター
11:30・宮之浦港発
14:10・鹿児島港着(昼食)
19:30・山田SA
22:00・佐賀関港発
23:10・三崎港着
02:00・今治着



▲ トロッコ道を歩いて縄文杉へ



▲ 緑の濃い大株歩道歩をすすんで

屋久島ではずすことの出来ないものといえば縄文杉、その、太古からひっそり山の奥深く生き続けている、大きな杉に会うために、トロッコ道を歩き出します。早朝というのに多くの人々、人気のほどがうかがえます。以前は杉の切り出しが行われた小杉谷集落跡を通り抜けトロッコ道をひたあるき、屋久杉の立ち並ぶ大株歩道へと入っていきます。

多くの雨が作り出すコケの世界、登山道沿いに立つ巨大な名も無い杉も見事です。ウイルソン株と呼ばれる屋久島最大の切り株、中は10畳の広さというほどあり巨大です。大王杉、夫婦杉を過ぎるとお目当てまで少し、展望のやぐらが見えてきます。急な階段を登りきると、堂々と立つ縄文杉と対面です。

周辺は昨夜の雪がまだ残って、いつもと違う幻想的ないい風景を見ることができ大満足でした。

宮之浦も縄文杉も長い道のりですが、それを補うだけのすばらしさのある屋久島、そんな見所を楽しんだ山歩きになりました。



▲ 雪景色の中、憧れの縄文杉と対面

OUTDOOR SHOP ELK TEL (0898) 23-7001
<http://elk.fc2web.com/> e-mail outdoor_elk@yahoo.co.jp